創造的に問題解決を試みる生徒の育成
– 教科等の指導を基盤として –

１．はじめに

近年の急速な科学技術の発展に伴い,現代社会は Society 5.0 への移行期にある。Society 5.0 は，内閣府が第 5 期科学技術基本計画で日本の目指すべき未来像として提唱した概念である。AI や IoT，ビッグデータ等の活用によりサイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させ，経済成長と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会である[1)]。

このような社会において，失業者の増大や，創造的かつ高付加価値な労働と，資産性は低いものの代替されずに人間に残る労働との二極化など，複数の課題が議論の対象となっている[2)]。

これらの諸問題を解決する一つの手段として，潜在的な課題を見出し，既成の考えにとらわれることなくアイデアを広げ，新たな価値を生み出すことができる能力（以下，創造的問題解決能力）を身に付けることだと考えた。同能力の修得は新規雇用の創出に寄与するため，Society5.0 における課題解決につながると考えられる。また，国立教育政策研究所が定義する「21 世紀型能力」[3)]の「問題解決・発見力」および「創造力」は，この創造的問題解決能力と同義である。

これらのことから，本校では創造的問題解決能力を，Society5.0 以降の新たな社会において重要な能力であると設定し，文部科学省の研究開発制度により新設した「創造デザイン科」を通して育成することを試みた。また，創造的問題解決を行うためには，それに適した資質・能力が必要であると考え，それを本校では「新たな価値を創造する資質・能力」と設定し「創造デザイン科」で身に付けることを目指し，創造的に問題解決を試みる生徒の育成を行ってきた[4)]。

また，昨年度より「創造デザイン科」で育成してきた「新たな価値を創造する資質・能力」の中の「イノベーターが有する態度」を各教科等でも育てることで，より一層，創造的に問題解決を試みる生徒を育むことが可能になるのではないかと考えた。

「創造デザイン科」は研究開発制度を活用し,総合的な学習の時間を創造性の育成に特化した教科である。よって,他の学校では実施することはできない。現行の学校教育では創造的問題解決能力を育成できる活動の一つは，総合的な学習の時間である。その総合的な学習の時間では，探究プロセス（図１）を通して「問題発見・解決能力」の育成が求められており[5)]，これは創造的問題解決能力を構成する要素の一つである。また弓野ら[6)]は，総合的な学習の時間の柔軟な思考と自由な表現を促進させるような環境・土壌が，創造性の伸長に大きな役割を果たすことを示唆している。さらに，総合的な学習の時間は，特定の教科等にとどまらず，横断的・総合的でなければならない[5)]。以上のことから本校では各教科等でイノベーターが有する態度を育成しようと考えた。

一方で，これまでの学校教育には，生徒を自立した学習者として育成しきれていないという課題が指摘されている[7)]。その一例として新型コロナウイルス感染症の感染拡大の際，学校の臨時休業中，子供たちは，学校や教師から指示・発信がないと，「何をしてよいか分からず」学びを止めてしまうという実態があったことに起因している[8)]。自ら課題を発見し，その解決に向けて主体的に取り組む姿勢こそが，これからの社会で求められる学習者の姿である。



図１　総合的な学習の時間に実施が求められる探究プロセス

この自立した学習者とイノベーターが有する態度とでは重なる部分がある。トニー・ワグナーはイノベーターが有している態度として，好奇心があることや問題に敏感であること等をあげている[9]。また，イノベーターのマインドセットとして，ヤング吉原ら[10]は，「ひとまずやってみる」ことや「失敗して，前進する」ことなどをあげており，上記のことからイノベーターには，主体的に問題見つけ,それらに取り組む姿が伺える。よって本校では両者の共通する態度（図２）があるのではと考え，その態度の育成を試みることとした。

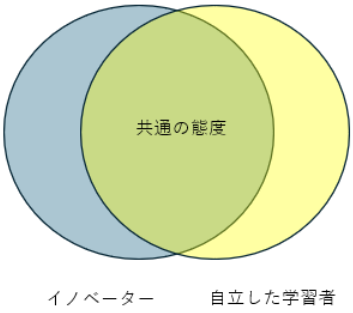


図２　共通の態度

２．研究方法

（１）イノベーターと自立した学習者が有する共通する態度

ここではイノベーターと自立した学習者が有する共通の態度をどのように設定したかを記す。①校内研究会にて，本校職員一人一人がイノベーターが有する態度と自立した学習者が有する態度を個人で考え，付箋で記録した。②その付箋を各学年で集め KJ 法にてグループ化（図３），ラベル化，図解化（図４）を行った。③これらを学年で発表し（図５），共通の態度の要素を共有した。④共通の態度の要素をさらにグループ化し，そこから研究部で共通の態度を作成した（図６）。



図３　個人で考えた付箋をグループ化する様子

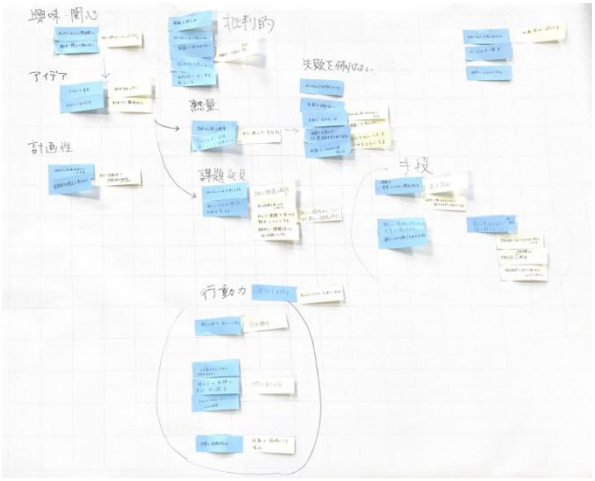


図４　ラベル化，図解化の様子



図５　各学年の発表の様子

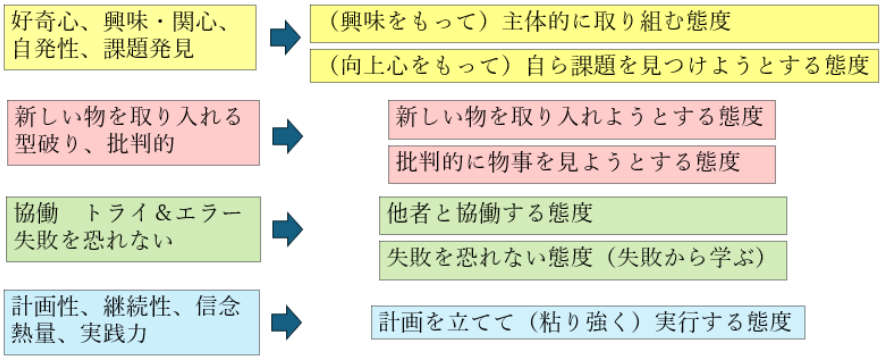


図６　態度の要素と共通の態度

（２）共通の態度と学習指導要領や各教科等の学習指導との関係性の検討

（１）の手順のあと，共通の態度が学習指導要領や各教科等の学習指導とどのように関係しているかを各教科等で考え，校内研究会にて発表した。（図７）

この校内研究会で，共通の態度が各教科等で育成可能であることが分かり，これを受けて，本校が育成する７つの態度を以下のように定めた。

A 主体的に取り組む態度
B 自ら問題を見つけようとする態度
C 新しいものを取り入れようとする態度
D 批判的に物事を見ようとする態度
E 他者と協働する態度
F 失敗を恐れない態度
G 計画を立てて実行する態度



図７　各教科等との関連について発表の様子

昨年度これら７つの態度を各教科等で授業を通じて育成を図り，授業実践を提案した。今年度は昨年度の反省を踏まえ,引き続き７つの態度の育成を試みる。それをまとめたのが表１である。

表１　　教科等で育成を試みる態度

国語	D 批判的に物事を見ようとする態度
社会	B 自ら問題を見つけようとする態度 D 批判的に物事を見ようとする態度
数学	G 計画を立てて実行する態度
理科	E 他者と協働する態度
音楽	C 新しいものを取り入れようとする態度
美術	C 新しいものを取り入れようとする態度 F 失敗を恐れない態度
保健体育	E 他者と協働する態度 F 失敗を恐れない態度
技術	C 新しいものを取り入れようとする態度
英語	C 新しいものを取り入れようとする態度 E 他者と協働する態度 F 失敗を恐れない態度
学校保健	B 自ら問題を見つけようとする態度
道徳	C 新しいものを取り入れようとする態度

なお，昨年の反省から A 主体的に取り組む態度においては基盤となる態度であるため，全ての教科等で育成を試みる態度とした。主体的に取り組む態度を育成するための各教科等の工夫について表２に示す。

表２　主体的に取り組む態度を育成するための各教科等の工夫

教科名	工夫
国語	・学習したことを授業内にとどまらず，実生活や社会で使用することを想定させる。 ・言葉を通して，様々な考えに触れる機会を設ける。
社会	・振り返りで，学習する中で感じた疑問や考えたことを書き溜めておく機会を設定する。 ・単元を貫く課題を用いた単元構成の策定を行う。
数学	・探究したくなるような課題の設定と発問を行う。 ・日常の事象の数学化する。
理科	・「学びのつながり」が見える大きな問いを設定する。
音楽	・学んでいることが生活や社会と結びつけられるような授業展開にする。
美術	・生徒の興味関心が高い分野と関連させる。 ・制作前に必要な技法を身につけさせたり，参考作品を鑑賞したりする。 ・異国の美術文化を日本の文化と関連付けさせて，学べるようにする。
保体	・課題に対して解決策を考え，実践する場面を各単元で設定する。
技術・ （家庭）	・探究的な活動に入る前に，探究に必要な知識や技能を身につけさせる。 ・解決すべき問題と課題を生徒に設定させる。 ・生徒のアイデアを実現するための準備を可能な限り行う（加工のしやすい材料，機器の整備など）
英語	・単元の課題を明確にして提示する。 ・生徒が自ら学ぶ方法等を考えて学習できる環境を整える。 ・授業を生徒が自ら振り返り，自己調整しながら学べるようにする。
学校保健	・生徒自身の生活を題材とする。
道徳	・教材を「自分事」にする導入を工夫する。 ・思考を深め，揺さぶる「発問」を工夫する。 ・変容を自覚する「振り返り」を工夫する。

（３）評価方法

前述したように各教科等で七つの態度の育成を行う。その際，評価の一部として生徒アンケートを実施する。アンケート項目は表３の通りである。アンケートは一つの態度につき二つあり，一つ目は意識について，二つ目は行動について質問している。また，年度初めに実施したアンケート結果は表４に示す（生徒４３７人回答）。

表３　アンケート項目

A 主体的に取り組む態度	①学習のねらいや意味を自分なりに考えて取り組もうとした。 ②自分から学習の方法を工夫したり，考えを発展させたりすることができた。
B 自ら問題を見つけようとする態度	③解決すべき問題やもっと良くできる点がないかを考えようとした。 ④学習の中で，自分なりに問題や改善点を見つけることができた。

C 新しいものを取り入れようとする態度	⑤今あるものや方法,現状をよりよくするために,授業で学んだことや,友達のアイデアを取り入れようとした。 ⑥今あるものや方法,現状をよりよくするために,授業で学んだことや,友達のアイデアを取り入れることができた。
D 批判的に物事を見ようとする態度	⑦収集した情報を様々な人の立場や視点から考えるようにした。 ⑧自分の意見を精査し，根拠を明確にして表すことができた。
E 他者と協働する態度	⑨他者との考えを受け止めながら,自分の考えを広げたり深めたりしようとした。 ⑩他者との考えを受け止めながら,自分の考えを広げたり深めたりすることができた。
F 失敗を恐れない態度	⑪失敗した時やうまくいかない時に,学びのチャンスだと捉えようとした。 ⑫失敗した時やうまくいかない時に，別の方法や表現を試したり，改善したりすることができた。
G 計画を立てて実行する態度	⑬問題の解決に向けて，自分なりに手順や見通しを立てようとした。 ⑭自分で立てた手順や見通しをもとに，行動することができた。

表４　事前アンケート結果

アンケート番号	よく当てはまる	どちらかというと当てはまる	どちらかというと当てはまらない	全く当てはまらない
①	45.1%	46.2%	7.8%	0.9%
②	45.1%	44.2%	9.8%	0.9%
③	47.8%	43.2%	8.0%	0.9%
④	48.5%	43.9%	7.1%	0.5%
⑤	59.3%	35.9%	4.3%	0.5%
⑥	50.1%	41.6%	7.3%	0.9%
⑦	46.9%	43.2%	8.7%	1.1%
⑧	35.7%	49.0%	14.4%	0.9%
⑨	55.4%	37.5%	6.2%	0.9%
⑩	50.8%	42.8%	5.7%	0.7%
⑪	35.0%	43.9%	18.5%	2.5%
⑫	43.0%	43.9%	11.0%	2.1%
⑬	44.2%	44.9%	8.7%	2.3%
⑭	36.6%	43.5%	15.1%	4.8%

３．教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の活用

（１）教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の活用理由

先述の通り,本校は各教科等を通じて,創造的に問題解決を試みる生徒の育成に努めている。その中核の活動の一つが総合的な学習の時間の探究活動である。本校では研究開発学校の指

定期間を終え，令和８年度より創造デザイン科を創造デザインと名称を変え，総合的な学習の時間の中で行っている。研究開発学校の指定期間中は創造デザイン科の授業時数を他の教科から授業時数を補填し，行っていたため総合的な学習の時間だけでは，アウトプットした活動に対する評価やフィードバックが出来ないなど十分な探究活動が行えていない。以上のことから教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の活用をしようと考えた。

（２）授業時数調整とその運用の仕方について

教育課程柔軟化サキドリ研究校事業を活用し，表５のように各教科から授業時数を減じた。

表５　教育課程柔軟化サキドリ研究校事業活用後の教育課程表

学年		第1学年	第2学年	第3学年
合計		1015	1015	1015
各教科の授業時数	国語	134	133	100
		(140)	(140)	(105)
		-6	-7	-5
	社会	101	100	134
		(105)	(105)	(140)
		-4	-5	-6
	数学	133	100	133
		(140)	(105)	(140)
		-7	-5	-7
	理科	100	134	133
		(105)	(140)	(140)
		-5	-6	-7
	音楽	44	35	35
		(45)	(35)	(35)
		-1	0	0
	美術	44	35	35
		(45)	(35)	(35)
		-1	0	0
	保健体育	101	101	102
		(105)	(105)	(105)
		-4	-4	-3
	技術・家庭	69	69	35
		(70)	(70)	(35)
		-1	-1	0
	外国語	134	133	133
		(140)	(140)	(140)
		-6	-7	-7
特別の教科である道徳の授業時数		35	35	35
		(35)	(35)	(35)
		0	0	0
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
		(50)	(70)	(70)
		0	0	0
特別活動の授業時数		35	35	35
		(35)	(35)	(35)
		0	0	0
児童生徒の資質能力の育成に特に資する教育活動（裁量的な時間）		35	35	35
		(0)	(0)	(0)
		+35	+35	+35

上段…変更後の授業時数
中段…標準授業時数
下段…授業時数の増減

表５のように各教科から授業時数を減じた授業時数は以下のように運用した。

①前述した７つの態度の育成を試みた授業を創造デザインの授業とする。

②創造デザインに直接関わる授業等を創造デザインの授業とする。

例）社会の授業で地域の問題点について様々な視点を学ぶ
数学の授業でアンケートの取り方やデータの処理について学ぶ
国語の授業でお礼状を作成する
美術の授業でポスター発表やスライド発表の配色について学ぶ
英語の授業でプレゼンの仕方について学ぶ

③教科の授業を創造デザインの授業とする。

例）保健体育の授業を創造デザインの一斉のガイダンスとする。

上記②③について教科等がどのように運用したかについて別添の年間計画に示す。年間計画は教科等ごとに３段構成になっている。１段目は単元名・教材目，２段目は育成を試みる態度，３段目は減じた授業について記載した。

４．参考文献

１）内閣府 Society5.0　https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.htm

２）文部科学省：Society5.0 に向けた人材育成～社会が変わる，学びが変わる～，https://www.mext.go.jp/component/a_menu/other/detail/__icsFiles/afieldfile/2018/06/06/1405844_002.pdf

３）国立教育政策研究所：教育課程の編成に関する基礎的研究　報告書 7　資質や能力の包括的育成に向けた教育課程の基準の原理，平成 25 年度　調査研究等特別推進経費調査研究報告書，p.ⅶ（2014）

４）金沢大学附属中学校研究紀要：新たな社会を見据えた探究的な活動に関する考察（２年次）-新設教科「創造デザイン科」の提言及び各教科等との効果的な関わりを目指して-　http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/futyu/bulletin_67/index.html

５）文部科学省：中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総合的な学習の時間編，東山書房，pp.7-33（2018）

６）弓野憲一，平石徳己：世界の創造性教育（展望），教育心理学年報，46 巻，138-148（2007）

７）文部科学省：「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～（答申）　https://www.mext.go.jp/content/20210126-mxt_syoto02-000012321_1-4.pdf

８）北 俊夫：「自立した学習者」を育てる学校・授業の在り方，教育セミナー研究紀要 26 巻 1 号 4-7（2023）

９）トニー・ワグナー，藤原朝子訳：未来のイノベーターはどう育つのか，英治出版（2014）

10）ヤング吉原麻里子，木島里江：世界を変える STEAM 人材，朝日新書（2019）

A 主体的に取り組む態度　B 自ら問題を見つけようとする態度　C 新しいものを取り入れようとする態度　D 批判的に物事を見ようとする態度　E 他者と協働する態度　F 失敗を恐れない態度　G 計画を立てて実行する態度

	1年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	朝のリレー　言葉に出会うために	情報を聞き取り，要点を伝える　話の構成を工夫しよう	ダイコンは大きな根？　情報を整理して説明しよう	詩の創作　比喩で広がる言葉の世界		大人になれなかった弟たちに……　星の花が降るころに　案内文を書く	聞き上手になろう　［推敲］読み手の立場に立つ　「言葉」をもつ鳥，シジュウカラ	根拠を明確にして書こう　聴きひたる大阿蘇	いろは歌　蓬莱の玉の枝　体験文を書こう	自分の意見を書こう　進め方について考えよう　少年の日の思い出	構成や描写を工夫して書こう	一年間の学びを振り返ろう
社会	世界の地域構成　日本の地域構成　世界各地の人々の生活と環境 B自			歴史の捉え方・人類の登場から文明の発生へ		アジア州 ②問題解決・合意形成の方法（3時間）	東アジアのなかの倭　中国にならった国家づくり　展開する天皇・貴族の政治 ③創デに拠出（1時間）	武士の世の始まり　武家政権の内と外　人々の結びつきが強まる社会 B自　D批		ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・オセアニア州・地域調査の手法　大航海によって結びつく世界　戦乱から全国統一へ B自		
数学	算数から数学へ　正負の数　文字と式　方程式 G計 ②アンケートの取り方について（1時間）					方程式　比例と反比例 G計 ②アンケート集計の方法（1時間） ③創デに拠出（1時間）		平面図形 G計 ②アンケート結果の分析方法（1時間） ③創デに拠出（1時間）		空間図形 ③創デに拠出（1時間）		データの分析と活用
理科	いろいろな生物とその共通点　光・音・力による現象 E他 ②企画書の書き方(1時間)					光・音・力による現象	身のまわりの物質 ②結果の検証方法について（1時間） ③創デに拠出（1時間）		③創デに拠出（1時間）	活きている地球 E他 ③創デに拠出（1時間）		
音楽	作者のメッセージを受け止め，思いを込めて歌おう　音楽の特徴に注目し，情景を思い浮かべながら聴こう　音の繋がり方の特徴を生かして旋律をつくろう　情景を想像して歌おう					曲に合った歌唱表現を創意工夫し，合唱しよう		曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう	日本の民謡を聴こう	曲にふさわしい表現を工夫し，箏を演奏しよう	曲に込められた思いを感じ取り，表現しよう	
美術	美術ってなに？　レタリング　色彩学　表現に合わせた絵具の使い方					表札色彩構成　表札色塗り　デザインって何？　ペーパーウェイトをつくる（形）			②見やすいポスターのデザイン（1時間）	ペーパーウェイトをつくる（色）　鑑賞		
保健体育	体つくり運動	サッカー・バスケットボール・バレーボール		水泳		マット運動・ハードル走	③創デに拠出（1時間）	柔道・ダンス	③創デに拠出（2時間）	バドミントン・卓球・バレーボール	③創デに拠出（1時間）	
技術分野	e-learning問題をつくろう C新						C新	目的に合ったペン立てをデザインしよう		②模型作り（レーザー加工機の使用）（1時間）		
家庭分野	人間にとっての食事　食品と栄養素　中学生に必要な食事					衣服のはたらきと手入れ	衣服の選択と着方	布を用いた作品		環境に配慮した衣生活		
英語	About Me	My Hero	My Treasure	My Summer Plans What am I ?クイズ		Ms. Brown's Family	Athletes with Spirit ③創デに拠出（2時間）	School Life in the U.S.A.	Alice and Humpty Dumpty F失 ③創デに拠出（1時間）	Discover Japan ②発表方法について（2時間）	Emergency Food ③創デに拠出（1時間）	Sleepy Lord Thunder 日本の昔話の紙芝居
	F失											
学校保健												
道徳	オリエンテーション　どうせ無理という言葉に負けない　本が泣いています	朝市のおはようございます　いじめに当たるのはどれだろう　傍観者でいいのか	風評被害　山に来る資格がない　SNSに友達の悪口を書くと	新しいブライド　父の手作りベンチ　山岳民族の文化を守る		見えない親切いのちって何だろう　決断！骨髄バンク移植第一号　夕暮れ時の避難	金賞を目指して　私はここにいる　よごれた教科書	アンドロイドと不気味の谷　裏庭での出来事　ぼくのふるさと C新	思いやりの日々　ごみ箱をもっと増やして　銀色のシャープペンシル	私のふつうとあなたの普通　ぼくらの村の未来　靴　古都の雅	震災の中で　看護する仕事　火の島　郷土を彩る	いつわりのバイオリン　自分の性格が大嫌い　詩画にあしたを託して
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年											

A 主体的に取り組む態度　B 自ら問題を見つけようとする態度　C 新しいものを取り入れようとする態度　D 批判的に物事を見ようとする態度　E 他者と協働する態度　F 失敗を恐れない態度　G 計画を立てて実行する態度

	2年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	見えないだけ　アイスプラネット	枕草子　クマゼミ増加の原因を探る	情報を整理して伝えよう　短歌　言葉の力 ③創デに拠出（3時間）	メディアの特徴を生かして情報を集めよう D批		ヒューマノイド　字のない葉書　表現を工夫して書こう　モアイは語る　適切な根拠を選んで書こう　平家物語・月夜の浜辺 D批 ②敬語（2時間）		君は最後の晩餐を知っているか　具体と抽象 D批		走れメロス 描写を工夫して書こう D批	鍵 ②ポスター作製（2時間）	文法
社会	地域調査の手法　日本の地域的特色と地域区分　九州地方 ②地域の問題点を見つける（1時間）		武士による全国支配の完成　天下泰平の世の中　社会の変化と幕府の対策 D批　B自　D批			中国・四国地方　近畿地方　欧米諸国の歩みと国際社会　開国と幕府の終わり　明治政府による近代化の始まり D批　B自		近代国家への歩み　帝国主義と日本 B自　B自	アジアの列国の光と影 D批	中部地方　関東地方　東北地方 B自　B自　B自 ②地域の特色についてスライドにまとめる（4時間）	北海道地方　地域の在り方 B自	
数学	式の計算 G計		連立方程式 ②AIプロンプト（1時間） ③創デに拠出（2時間）	1次関数 ②アンケートの取り方について（1時間）		1次関数 G計	確率　平行と合同 ②グラフアプリ（1時間）		三角形と四角形 G計		データの比較	
理科	化学変化と原子・分子 E協 ②実験計画の立案・AIを用いた計画分析・結果のまとめと発表（4時間）			生物の体のつくりとはたらき ③創デに拠出（1時間）		電流とその利用		生物の体のはたらき（続き）	電流とその利用（続き） ②活動報告書のまとめ方（1時間）	地球の大気と天気の変化		
音楽	表現を工夫して歌おう	リズムに合わせて音楽をつくろう		曲の構成に注目し，曲想の変化を味わおう		曲に合った歌唱表現を創意工夫し，合唱しよう		オペラに親しみ，その音楽を味わおう	歌舞伎に親しみ，その音楽を味わおう	日本の音階を使って，まとまりのある旋律をつくろう	曲に込められた思いを感じ取り，表現しよう	
美術	鑑賞（アウトプット鑑賞・美術史鑑賞・対話型鑑賞）		鉛筆画			もしこんな生き物がいたら？			校舎を透視図法で描いてみよう！			
保健体育	体つくり運動	ソフトボール・バスケットボール・バレーボール		水泳 ③創デに拠出（4時間）		バレーボール・跳び箱・ソフトボール	F失	柔道・ダンス E他		バドミントン・卓球・バレーボール		
技術分野	目的に合ったトマトを栽培しよう					生活や社会をよくする「光るもの」をデザインしよう（電気回路の設計） C新 ②設計（デザイン思考）・1時間						
家庭分野	日常食の調理					生活に必要な住空間・安全で健康的な住生活			地域の食文化	購入・支払いと生活情報		
英語	Meet New Friends F失	Fun with Books C新 ②スライド作成(2時間)	My Dream	スピーチ「My Dream」 C新，F失		Safe Clean Water	Visiting Australia C新，F失 ②地域調べ＆紹介(2時間)	Friends from Singapore C新，F失	人気のあるもの調査 F失 ②調査結果発表（2時間）	Gifts from China F失 ②商品紹介（1時間）	*Rakugo* Goes Overseas	好きなもの×観光マップ
学校保健								睡眠 B自				
道徳	『できない』には価値がある―吉藤オリイ　遠足で学んだこと 和食のこころ	私のせいじゃない あの子のランドセル	一冊のノート　六千人の命のビザ　魔法使いの少年―いつかの自分 C新	「いいね」のために？　左手でつかんだ音楽　祭りの夜		日々を支える，散歩と朝ご飯―阿部 謹　奇跡の一週間　妹に	みんなでとんだ！　夜のくだもの屋　本当の私 C新	注文をまちがえる料理店　冬の使者『マガン』　あいさつ	女子教育の夜明け―津田梅子　ゴール	書道パフォーマンスの挑戦　やっちゃんのなやみ　宝塚方面行き―西宮北口駅 C新	田老の生徒が伝えたもの　人生でだいじなことは，みんなゴリラから教わった C新	気づき―ドッジボールとぼくらの温度差　良心とのたたかい―『レ・ミゼラブル』より
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	2年											

A 主体的に取り組む態度　　B 自ら問題を見つけようとする態度　　C 新しいものを取り入れようとする態度　　D 批判的に物事を見ようとする態度　　E 他者と協働する態度　　F 失敗を恐れない態度　　G 計画を立てて実行する態度

	3年											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	世界はうつくしいと　握手	聞く　言葉1　論語　スピーチ ②意見を聞き適切さを判断する（1時間） ②相手や場に応じた言葉遣い（1時間）	作られた「物語」を超えて D批	俳句の可能性		複数の意見を読んで　君待つと D批	聞き上手になろう　故郷 ②質問の仕方（1時間）	批評文　夏草 D批	それでも言葉を	合意形成に向けて　温かいスープ D批	三年間の歩みを振り返ろう	
社会	アジアの強国の光と影　第一次世界大戦の始まりと総力戦 D批	高まるデモクラシーの意識　戦争に向かう世論　第二次世界大戦の惨禍 B自 ②社会的事象の原因分析（2時間）	敗戦から立ち直る日本　世界の多極化と日本の成長　これからの日本と世界	現代社会の特色　私たちの生活と文化 ②地域調査の仕方や視点（1時間）		現代社会をとらえる枠組み　日本国憲法と私たち　基本的人権の尊重 B自 ②効率と公正の視点（4時間）	法の支配を支えるしくみ　民主政治と私たち　国の政治のしくみ D批 ②地方財政の使い道（1時間）	地方自治と私たち　経済のしくみと消費　企業と生産	市場経済と金融のしくみ　財政と私たち	日本経済の課題とこれから　国際社会のしくみ B自	地球的課題とその解決　より良い社会をめざして B自	
数学	多項式		平方根	2次方程式 G計 ②論理的な説明の仕方（1時間）		2次方程式 関数$y=ax^2$	相似な図形 G計 ②アンケートの分析について（4時間）		円	三平方の定理	標本調査 G計	
理科	生命の連続性 ②計画の立案（4時間）		化学変化とイオン E他 ②仮説と検証のしかた(1時間)	③創デに拠出（2時間）		運動とエネルギー		宇宙を観る F他		自然と人間		
音楽	情景を思い浮かべ，言葉を大切にしてアンサンブルしよう		能に親しみ，その音楽を味わおう			曲に合った歌唱表現を創意工夫し，合唱しよう		多様な音楽を味わおう C新	曲の特徴を感じ取りながら音楽を味わおう	箏の音楽の特徴を感じ取り演奏しよう　曲に込められた思いを感じ取り，表現しよう		
美術	日本の美術はどのようにして変化・深化していったのか		柏葉をよく見て描く			柏葉をよく見て描く		C新	F失	光と色が織りなす世界		
保健体育	体つくり運動	サッカー・バスケットボール・テニス		水泳		テニス・高跳び		柔道・ダンス・バレーボール		バドミントン・卓球		
技術分野	生活や社会をよくする「光るもの」をデザインしよう（計測・制御のプログラムを用いた設計）						C新	生活や社会をよくする「光るもの」をデザインしよう（計測・制御のプログラムを用いた設計）				
家庭分野	家庭のはたらきと家庭の仕事		幼児の生活と家庭			幼児とのふれあい体験		かかわり合う地域と家庭		持続可能な家庭生活		
英語	Join Us	The Power of Music	Cranes for Peace	旅行プランの提案 E他 ②提案書の書き方（3時間）		Bollywood Movies	Translating Culture	Being Fair	ラジオの30秒CM E他 ②アイデアを出す（2時間）	Design for Change F失 ②問題解決のアイデア提案（2時間）	10年後の自分へのメッセージ	
学校保健												
道徳	自分をアップデート　二通の手紙　地域を愛するプロサッカーリーグ	ある日の午後から　私の好きなもの　いじめからめをそむけない	合格通知　熱球の軌跡　外国から来た転校生 C新	早朝ドリブル　花火と灯ろう流し　たんぽぽ作業所		くちびるに歌をもて　人間の命とは　避難所での出来事	埴生の宿　紀州のエジソン　コスモスの花を咲かせよう C新	しあわせ　語らい　その子の世界，私の世界	伝えたいことがある　好きな仕事か安定かなやんでいる　きれいな川	C新 自分を変える力　スマホに夢中　言葉おしみ	卒業文集　最後の二行　缶コーヒー　加山さんの願い	幸せに生きる道

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	3年											